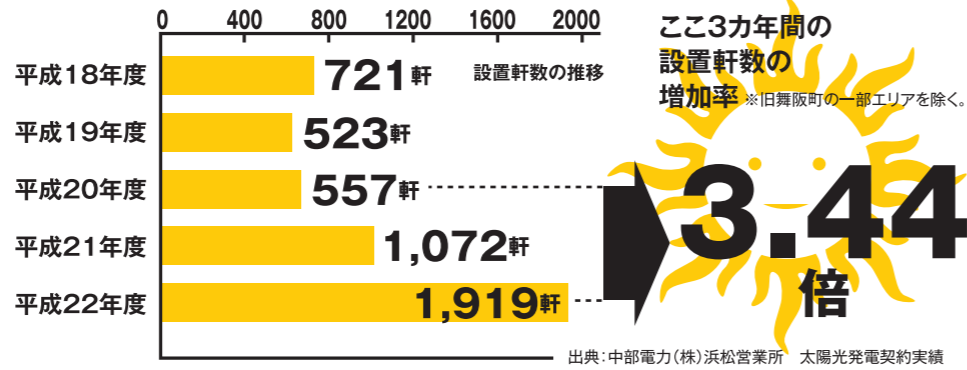


関心高まる 住宅用太陽光発電システム

ここ数年、住宅用太陽光発電パネルの設置軒数が増えてきています。平成22年度1年間の設置軒数は1,919軒(中部電力(株)と売電契約を結んでいる件数)です。これは前年の1.79倍。2年前の3.44倍にもなっています。



実際はまだまだ 全世帯数のおよそ2.5%

実際には、平成22年度末で太陽光発電システムを設置している住宅軒数は、浜松市全世帯数のわずか2.5%です。そこで、新エネルギーの普及促進を目的として、市では住宅用太陽光発電システムに補助金を交付しています。利用してみたいか？

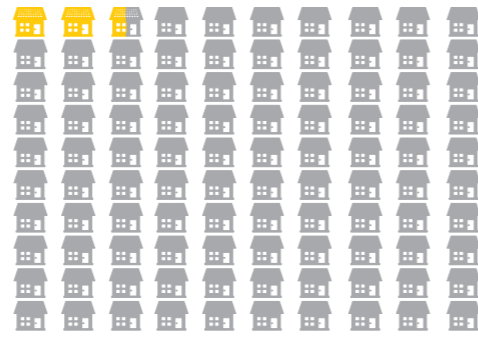
市ホームページ(☑️トップ→暮らし→環境→住宅用太陽光発電の補助制度)

太陽光発電設備を設置している住宅

※旧舞阪町の一部エリアを除く。

2.5軒
100軒

設置住宅7,652件÷300,068世帯(平成22年度)



市でも導入しています。 環境に配慮したエネルギー車

限りあるエネルギーを有効に使い、CO2排出を軽減するためにも環境に配慮した低公害車を公用車として導入しています。低公害車とは、ハイブリッド車をはじめ、電気、天然ガス車などを指します。この他にも市では各年度の排ガス規制値、低燃費に適合した車両を314台保有しています。

浜松市が導入しているハイブリッド車・天然ガス車



市内の風力発電の風車は どれくらいあるの？

大型の風力発電(2,000kW以上)は北区の滝沢地区に10基。大型風力発電は、発電能力は高いものの、低周波音や自然に対する影響などさまざまな課題も指摘されています。しかし、課題をクリアできれば、十分に期待できる発電システムといえます。

浜松市内の 風力発電設置基数と 発電量



地域、集落独自の電源として期待

浜松市は北部に山を配し、豊かな河川と降雨量を誇っています。大規模なダムによる発電ではなく、小型水力発電はその水量や設置場所、発電量にもよりますが、小さな集落の電力需要を賄う可能性を秘めています。ただ、現状では有効な落差を得るのが難しいことから設置が進んでおらず、データのような結果に。しかし、これからの地域自給エネルギーを考えると、有効な発電方法とも考えられます。

市内の小型水力発電設置数



もっとはままつを知りたい!

いま ひもと
~浜松の現在を紐解く
エネルギーに関するいろいろなデータ~

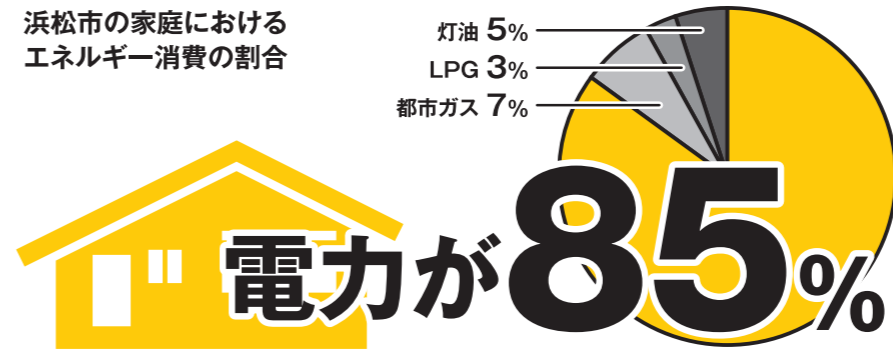
浜松市の総電力消費量(平成21年) **5,119,764MWh/年** 浜松市民の電力消費量はほぼ平均

浜松市民一人当たりの電力消費量 **6,309kWh/年**

他都市の市民一人当たりの電力消費量
札幌市 **4,885kWh/年** 仙台市 **6,193kWh/年**
東京都区部 **6,911kWh/年** 福岡市 **8,326kWh/年**

出典: 大都市統計協議会「大都市比較統計年表」

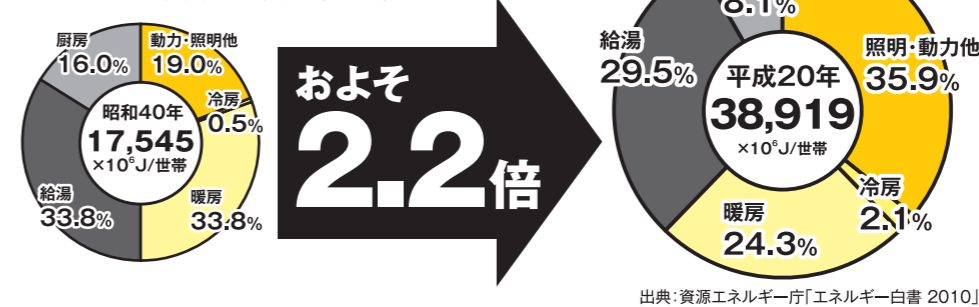
浜松市の家庭における エネルギー消費の割合



家庭ではどれだけ 電力を使っている？

家庭で使われるエネルギーはそのほとんどが電力と言えるでしょう。家電製品の大型化やパソコンなどの情報機器の普及はもちろん、特に近年のオール電化住宅の普及により、熱源(給湯やコンロ、冷暖房など)を電力に求める事が多いためと考えられます。

世帯あたりの エネルギー消費量の変化(全国)



快適な暮らしを支える エネルギー消費

世帯あたりのエネルギーの消費量は43年間でおよそ2.2倍に増加しています。特に「照明・動力他」の比率が大きくなっており、これは、より豊かで快適なライフスタイルを求めて、家電製品が多様化したことによるものと考えられます。また、世帯内で個々の生活パターンが違うためにエネルギー消費がまとめて行われなくなったことも要因のひとつです。

緑のカーテン による節電効果



節電、目に優しい緑の効果、そして食用。 三拍子揃った緑のカーテン

(独)建築研究所と市が、市民にゴーヤを育ててもらい、前年(平成21年)との電気使用量を比較した調査結果によると、緑のカーテンを設置した場合、カーテンを設置しない場合と比べ、消費電力をおよそ2割削減できたことが判明。緑のカーテンをうまく育てられた家庭では、前年との電気使用量は変わりませんが、うまく育てられなかった家庭では、平成22年8月の電気使用量は平成21年より2割ほど増加しているとの回答を受けました。平成22年の猛暑を考慮すると一定の効果があったと考えられます。